

令和3年度

鳴門市第一小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 学校と家庭が連携し、課題に対して粘り強く取り組む児童の育成

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員
- 校長, 教頭
 - 教務主任, 特別支援教育コーディネーター
 - 各学年主任

校長

端村 達也



◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

校内研修や研究授業, 教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して, 真面目に取り組む児童が多い。 ●語彙数が少なく, 正確に文章を読み書きしたり, 話を聞いたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につくことができている。 ・進んで自分の考えや根拠を述べたり, 友達の発言と比較したりすることによって, 自分の思いや考えを広く深めることができる。	・小テストや宿題などで既習内容を繰り返し学習させ, 理解度を把握する。 ・新聞や図書を活用し, あらすじをまとめたり要約したりする書く活動を充実させる。 ・既習漢字を正しく使わせ, 言葉の言い換えや比較を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを積極的に発言したり, 友達の発言に自分の考えを繋げたりできる。 ●一部の児童で, 話し合いが進んでしまうことに課題がある。 ●これまでの学習を生かして, 自分の考えを述べることに課題がある。	・これまでの学習を手がかりにしながら, 自分の考えを書くことができる。 ・進んで自分の考えや根拠を述べたり, 友達の発言と比較したりすることによって, 自分の思いや考えを広く深めることができる。	・一人で考える時間を確保し, ペア, グループ, 全体での話し合いなど適切な方法で対話の場面を取り入れる。 ・根拠を述べたり多様な意見を引き出したりできるように発問を工夫する。 ・電子黒板やタブレット端末を活用して, 話し合いの目的や流れを視覚化したり, 児童から出た多様な意見を比較や関連付けできるように, 全体に周知したりする。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して, 友達と協力しながら前向きに学習に取り組める児童が増えた。 ●自ら課題を設定し, 粘り強く取り組むことに課題がある。 ●家庭学習の習慣がなかなか身につかない児童もいる。	・自ら課題を設定し, 主体的に学習に取り組むことができる。 ・最後まで粘り強く課題に取り組むことができる。 ・宿題や自主学習に取り組む, 家庭学習の習慣が身についている。	・児童主体でめあてを設定したり, 優れたノートを掲示したりすることで, 学習意欲を高める。 ・課題設定→見直し→振り返りを意識した授業を行う。 ・学年便り等で継続的に家庭学習の習慣化を呼びかける。			

令和3年度 学力向上ロードマップ

